

宇都宮市立横川中央小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|-----------------------|---|---|
| 家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫 | 年度初め4月に、家庭学習に関する保護者あて通知をするなど、家庭・保護者と連携をとりながら、家庭学習や自主学習への理解・協力を呼び掛けることで、基礎・基本の着実な定着に向けた指導を行っている。 | 「宿題はきちんとやり、期限までに提出している」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は96.8%であった。「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は85.7%であった。 |
| 授業におけるめあてとまとめ・振り返りの充実 | 授業の最初に本時のめあて、最後にまとめを板書して確認することで、児童一人一人が本時の学習内容振り返り、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組めるようにしている。 | 「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は92.1%であった。 |

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・教科に関する調査からは、基本的な知識や技能に関わる問題では、ほぼ国・県・市よりも上回る結果となったが、社会科の活用は下回ってしまった。各単元の結末を中心に、学習内容のまとめや復習を繰り返し行うとともに、学期末には複数単元の内容をまとめて復習することで、各単元の内容を着実に身に付け、着実な定着を図ることができるようにする。また、各単元の始めには、今までの学習内容を復習する機会を設定することで、着実な定着を図れるようにする。